

2025 年度（令和 7 年度）

## 事業報告書

自 2025 年（令和 7 年）4 月 1 日

至 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日

公益財団法人 日本ライフセービング協会  
JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION  
（ J L A ）

## 目 次

### 【A. 公益目的事業】

- < 1 > 監視救助事業
- < 2 > 資格認定事業
- < 3 > 安全・防災教育・環境保全事業
- < 4 > 競技推進事業
- < 5 > 国際交流事業
- < 6 > 広報活動事業
- < 7 > その他の事業

### 【B. その他の事業】

- < 1 > 認定ライフセーバー養成のための資格認定事業

### 【C. 収益事業】

- < 1 > STCW 条約\*に基づく基本訓練講習事業

\*STCW 条約・・・The International Convention on Standards of Training,  
Certification and Watchkeeping for Seafarers, 1978)

【1978年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約】

備考：表記について

- ・国際ライフセービング連盟 → I L S
- ・日本ライフセービング協会 → J L A
- ・L S → ライフセービング
- ・L S C → ライフセービングクラブ

## 【A. 公益目的事業】

ライフセービングに関する公益目的事業として、海岸・プール等をはじめとする全国の水辺の事故防止に向けた安全教育、監視・救助、防災・防災教育、環境保全等を行うライフセービングの普及・啓発及び発展に関する事業を行う。

### < 1 > 監視救助事業

#### 1. 監視救助業務

(1) 監視救助事業とは、海岸や河川、プール等の水辺に利用者やスポーツイベント等の参加者が訪れた際、その監視と救助を行う事業である。

本協会では静岡県、東京都、和歌山県、神奈川県内の自治体から各海水浴場の監視救助活動業務の依頼を受けて事業を実施した。また、その他の自治体については、都道府県協会又は各加盟クラブがその依頼を受けて事業を実施しており、本協会はそれらについて活動支援を行った。

|    | 海水浴場名          | 地区      | 期間        |
|----|----------------|---------|-----------|
| 1  | 新島地区・黒根海水浴場    | 東京都新島村  | 8/1-8/31  |
| 2  | 新島地区・第二前浜海水浴場  |         |           |
| 3  | 新島地区・第四前浜海水浴場  |         |           |
| 4  | 新島地区・間々下浦海水浴場  |         |           |
| 5  | 新島地区・若郷前浜海水浴場  |         |           |
| 6  | 新島地区・羽伏浦海水浴場   |         |           |
| 7  | 式根島地区・泊海水浴場    | 式根島地区   | 8/1-8/31  |
| 8  | 式根島地区・大浦海水浴場   |         |           |
| 9  | 式根島地区・中の浦海水浴場  |         |           |
| 10 | 式根島地区・石白川海水浴場  |         |           |
| 11 | 三宅島地区・錆ヶ浜海水浴場  | 東京都三宅村  | 7/22-8/17 |
| 12 | 三宅島地区・三池浜海水浴場  |         |           |
| 13 | 三宅島地区・大船戸海水浴場  |         |           |
| 14 | 三宅島地区・大久保浜海水浴場 |         |           |
| 15 | 三宅島地区・長太郎池海水浴場 |         |           |
| 16 | 熱川温泉 You 湯ビーチ  | 静岡県東伊豆町 | 7/19-8/24 |
| 17 | 今井浜海水浴場        | 静岡県河津町  | 7/25-8/24 |
| 18 | 土肥海水浴場         | 静岡県伊豆市  | 7/19-8/24 |
| 19 | 小土肥海水浴場        |         |           |
| 20 | 乗浜海水浴場         | 静岡県西伊豆町 | 7/19-8/24 |
| 21 | 浮島海水浴場         |         |           |
| 22 | 田子瀬浜海水浴場       |         |           |

|    |         |         |           |
|----|---------|---------|-----------|
| 23 | 黄金崎海水浴場 |         |           |
| 24 | 深田海水浴場  |         |           |
| 25 | 松崎海水浴場  | 静岡県松崎町  | 7/21-8/24 |
| 26 | 岩地海水浴場  |         |           |
| 27 | 石部海水浴場  |         |           |
| 28 | 雲見海水浴場  |         |           |
| 29 | 白良浜海水浴場 | 和歌山県白浜町 | 5/3-9/16  |

(2) スポーツイベント（\*オープンウォータースイミングやトライアスロン、水泳等）の監視とその救助を行う。

\*「オープンウォータースイミング」海、川、湖など、自然の水の中で行なわれる長距離の水泳競技であり、国際水泳連盟が定める競技規則のもと国際的に統一されたルールで行われ遠泳とは異なる。「OWS」と略す。

| 事業内容                                                 | 開催日            | 会場                         |
|------------------------------------------------------|----------------|----------------------------|
| 一般社団法人千葉県水泳連盟<br>日本マスターズ水泳短水路大会 2025                 | 4/19-4/20（2日間） | 千葉国際総合水泳場                  |
| 一般社団法人日本アウトリガーカヌー協会<br>JOCACUP 第4回全日本アウトリガーカヌー選手権    | 5/17-5/18（2日間） | 逗子海岸                       |
| 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会<br>第26回 東京都障害者スポーツ大会水泳競技          | 5/17-5/18（2日間） | 東京アクアティクスセンター              |
| 公益財団法人日本ローイング協会<br>第103回全日本ローイング選手権大会                | 5/22-5/25（4日間） | 海の森水上競技場                   |
| 一般社団法人千葉県トライアスロン連合<br>第16回館山わかしおトライアスロン大会            | 5/24-5/25（2日間） | 沖ノ島周辺と海上自衛隊<br>館山航空基地内特設会場 |
| 公益財団法人日本水泳連盟<br>OWS オーシャンズカップ館山 2025                 | 6/14-6/15（2日間） | 館山市北条海岸                    |
| 2025 五島長崎国際トライアスロン大会実行委員会<br>2025 五島長崎国際トライアスロン大会    | 6/15（1日間）      | 長崎県五島列島福江島                 |
| 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟<br>第28回日本知的障害者選手権水泳競技大会            | 6/29（1日間）      | 横浜国際プール                    |
| 公益財団法人東京都水泳協会<br>東京 OWS 大島 2025                      | 7/5-7/6（2日間）   | 大島町 OWS スイムエリア             |
| 的形実行委員会<br>的形 OWS 2025                               | 7/5-7/6（2日間）   | 兵庫県姫路市の形                   |
| 一般社団法人日本マスターズ水泳協会<br>ジャンボウカップマスターズスイムミート 2025        | 7/19-7/20（2日間） | 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター       |
| 館山 OWS オーシャンズカップ 2025 実行委員会<br>館山 OWS オーシャンズカップ 2025 | 7/19-7/20（2日間） | 館山市北条海岸                    |
| 一般社団法人 岐阜県水泳連盟                                       | 8/10（1日間）      | 長良川スイミングプラザ                |

|                                                            |                      |                           |
|------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------|
| 第8回岐阜県社会人選手権水泳競技大会                                         |                      |                           |
| わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会<br>わた SHIGA 輝く国スポ・全障スポ OWS プレ大会 | 8/16-8/17 (2日間)      | 滋賀県長浜市南浜町地先<br>特設会場       |
| あおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会<br>青森あさむし温泉 OWS 大会 2025 (国スポプレ大会)      | 8/29-8/31 (3日間)      | サンセットビーチあさむ<br>し OWS 特設会場 |
| わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ長浜市実行委員会<br>わた SHIGA 輝く国スポ・全障スポ OWS 本大会  | 9/9-9/10 (2日間)       | 滋賀県長浜市南浜町地先<br>特設会場       |
| あおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会<br>第16回 日本スプリントトライアスロン選手権              | 9/13-9/14 (2日間)      | 青森市特設トライアスロ<br>ン会場        |
| 公益財団法人日本水泳連盟<br>第101回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技                    | 9/26-9/28 (3日間)      | 館山市北条海岸                   |
| 一般社団法人泉南スポーツコミッション協会<br>泉南 OWS 大会 2025                     | 10/3-10/5 (3日間)      | タリイサザンビーチ                 |
| 公益社団法人トライアスロンジャパン<br>キッズトライアスロンプロジェクト                      | 10/5 (1日間)           | 海の森水上競技場                  |
| 千葉シティトライアスロン実行委員会<br>千葉シティトライアスロン大会 2025                   | 10/11-10/13 (3日間)    | 千葉市稲毛海浜公園                 |
| 公益財団法人日本水泳連盟<br>第101回日本学生選手権 OWS 競技大会                      | 10/11-10/13 (3日間)    | 館山市北条海岸                   |
| 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ延岡市実行委員会<br>OWS すみえカップ 2025 大会 (宮崎国スポプレ大会)  | 10/18-10/19 (2日間)    | 須美江海水浴場特設会場<br>(延岡市)      |
| 一般社団法人千葉県水泳連盟<br>第26回千葉マスターズ水泳選手権大会                        | 10/18-10/19 (2日間)    | 千葉国際総合水泳場                 |
| 須崎 OWS2025 大会実行委員会<br>須崎 OWS 大会 2025                       | 10/18-10/19 (2日間)    | 須崎市立スポーツセンタ<br>ーシーパーク大島   |
| 公益社団法人トライアスロンジャパン<br>トライアスロン日本選手権大会                        | 10/26 (1日間)          | 東京お台場                     |
| 公益社団法人トライアスロンジャパン<br>ワールドトライアスロンカップ 2025                   | 11/7-11/9 (3日間)      | みやざき臨海公園                  |
| 一般社団法人日本マスターズ水泳協会<br>ジャパンマスターズスプリント 2025 WEST              | 11/15-11/16 (2日間)    | インフロニア草津アクア<br>ティックセンター   |
| 一般社団法人日本マスターズ水泳協会<br>ジャパンマスターズスプリント 2025 EAST              | 11/29-11/30 (2日間)    | 千葉国際総合水泳場                 |
| 新春マスターズスイムミート 2026 実行委員会<br>新春マスターズスイムミート 2026             | 2026/1/24-1/25 (2日間) | 千葉国際総合水泳場                 |

## 2. 水辺の溺水事故防止に向けた調査研究

(1) ライフセービングレポート（全国パトロール統計：e-log）の集計および、レスキューレポート、傷病者等記録票の検証とフィードバック、水浴場調査を実施した。本協会に加盟するライフセービングクラブが全国において監視救助活動を行った結果を集計し、それを公表することで水辺の溺水事故防止につなげる事業である。

結果は例年本協会の事業報告書で公開し、2025 年度においては報告水浴場計 207 か所、携わったライフセーバー総数は 36,865 人、パトロール延時間は 278,286 時間であった。

|                   | 2025 年    | 2024 年    | 2023 年    | 2022 年    | 2021 年    |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 報告水浴場数            | 207       | 215       | 215       | 207       | 157       |
| 水浴客総入込数           | 4,411,789 | 3,915,428 | 4,105,659 | 4,407,175 | 2,139,325 |
| レスキュー総数           | 563       | 458       | 416       | 507       | 314       |
| Preventive Action | 552       | 450       | 401       | 449       | 308       |
| Emergency Care    | 11        | 8         | 15        | 19        | 6         |

|                   | 2020 年    | 2019 年    | 2018 年    | 2017 年    | 2016 年     |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 報告水浴場数            | 107       | 197       | 200       | 195       | 204        |
| 水浴客総入込数           | 1,498,088 | 8,289,594 | 9,522,415 | 8,524,042 | 11,727,383 |
| レスキュー総数           | 291       | 2,128     | 2,362     | 1,776     | 2,276      |
| Preventive Action | 284       | 2,113     | 2,334     | 1,761     | 2,239      |
| Emergency Care    | 7         | 15        | 28        | 15        | 37         |

## (2) 海のそなえプロジェクト ※日本財団助成事業

4 団体のコンソーシアムにてプロジェクトに取り組んだ。本協会では「全国における水難事故の実態調査分析及びナショナルデータ構築」と「ウォーターセーフティ・ナショナルカリキュラムの開発」に取り組んだ。

### < 4 団体 >

- ・公益財団法人日本財団
- ・公益社団法人日本水難救済会
- ・一般財団法人うみらい環境財団
- ・公益財団法人日本ライフセービング協会

### < プロジェクト >

- ・水難事故に関する調査
- ・水難事故防止教育プログラムの開発
- ・フローティングアイテム普及推進、海のそなえ普及コンテンツ開発
- ・情報発信（シンポジウム等の開催）

### 3. 監視救助活動の推進に向けた器材等配備支援

全国のライフセーバー及びライフセービングクラブに対して、監視救助活動で利活用する器材等の配備を行った。一部有償で支援を行っているが、原価及び管理経費による支出のため利益を伴う事業ではない。

#### (1) 監視救助用ユニフォーム等の配備支援

- ・対象：本協会認定資格所有者
- ・内容：パトロールユニフォーム、パトロール水着等

| 監視救助用ユニフォーム   | 数量  |
|---------------|-----|
| パトロールユニフォーム長袖 | 257 |
| パトロールユニフォーム半袖 | 450 |
| ビーチパトロールシャツ半袖 | 55  |
| プールライフセーバー半袖  | 33  |
| サーフパンツ男子      | 590 |
| サーフパンツ女子      | 212 |
| 男子水着ボクサー型 1   | 0   |
| 男子水着ボクサー型 2   | 110 |
| 男子水着ボクサー型 3   | 107 |
| 男子水着ブーメラン型 1  | 0   |
| 男子水着ブーメラン型 2  | 42  |
| 男子水着ブーメラン型 3  | 44  |
| 女子水着トップス型 1   | 0   |
| 女子水着トップス型 2   | 57  |
| 女子水着トップス型 3   | 49  |
| 女子水着ボクサー型 1   | 0   |
| 女子水着ボクサー型 2   | 21  |
| 女子水着ボクサー型 3   | 22  |
| 女子水着ブーメラン型 1  | 0   |
| 女子水着ブーメラン型 2  | 44  |
| 女子水着ブーメラン型 3  | 28  |
| 女子水着ワンピース型 3  | 6   |
| ラッシュガード       | 167 |
| サーフハット        | 131 |
| つば付きキャップ      | 350 |
| パトロールキャップ     | 344 |

(2) 監視救助用器材等の配備支援 ※日本財団助成事業

- ・対象：都道府県協会及び加盟クラブ
- ・内容：レスキューボード/チューブ/AED/旗セット、IoT等を活用した監視救助システム

| 配備品                              | 数量    |
|----------------------------------|-------|
| レスキューボード                         | 42 本  |
| レスキューチューブ                        | 140 本 |
| AED                              | 10 機  |
| 津波フラッグ・エリアフラッグ セット               | 6 旗   |
| 高度化事業＊ IoT 監視救助システム（沖縄県宮古島市渡口の浜） | 1 セット |

＊ライフセービングの高度化事業

JLA では先端技術を取り入れたライフセービングの高度化を 2019 年より進めている。

① AI と IoT を活用した海辺のみまもりシステムの開発

2019 年に開発し、2025 年までに全国 6 ヶ所（千葉県御宿町中央海岸、福井県高浜町若狭和田海岸、神奈川県鎌倉市由比ガ浜海岸、神奈川県鎌倉市中央・材木座海岸、静岡県下田市吉佐美大浜海岸、沖縄県恩納村アボガマ）で運用。

このシステムは、AI が離岸流発生と離岸流エリアへの利用者の立ち入りをリアルタイムで自動検知し、離岸流発生時には、利用者のスマートフォンアプリにアラートを通知、また、ライフセーバーのスマートウォッチにも通知、離岸流エリアへの利用者の立ち入りがあった際にはライフセーバーのスマートウォッチに救助要請を発報。

また、津波注意報、警報発令時には、海岸利用者数を自動カウントし管轄行政の登録メールアドレスに海岸画像とともに通知、あらかじめ設定した間隔にて自動更新（通知）される。これにより、有事に海岸にどの程度の避難者がいて、時間経過とともに避難が進んでいるかを確認可能。さらに、ヘルプシグナルの自動検知も試験運用中。

2023 年には離岸流エリアに利用者が立ち入った際にドローンがその地点まで自動飛行し注意喚起のアナウンスをして自動で戻ってくるシステムの試験運用を実施し 2024 年には若狭和田海水浴場にて実装した。

② ウォータセーフティアプリ（WS）アプリの開発

前述のシステムと連動するスマートフォンアプリを 2020 年に開発し、全国のライフセーバーが活動する海水浴場情報とともに公開。

③ e-log の導入

ライフセーバーの活動記録の電子化を行い、2022 年度より本運用。日々のデータが一元管理されている。

④ ドローンパトロール

2021 年、2022 年に一部の地域で試験的に運用（神奈川県協定）。2023-2025 年では本運用として、神奈川県内は葉山、由比ガ浜・中央材木座、神奈川県湘南広域にて、その他、宮城県小田の浜、福井県若狭和田、東京都三宅島、沖縄県本島の 7 ヶ所でドローンパト

ロールを実施した。

以下4地域には4機配備を配備した。

| 配備団体           | 使用回数 | 合計飛行時間  |
|----------------|------|---------|
| 気仙沼ライフセービングクラブ | 7回   | 6時間25分  |
| 葉山ライフセービングクラブ  | 9回   | 6時間30分  |
| 鎌倉ライフガード       | 29回  | 17時間20分 |
| 沖縄ライフセービング協会   | 9回   | 6時間10分  |

### (3) 監視救助及び巡視等に対する車両配備支援

- ・対象：都道府県協会
- ・内容：主に海水浴場開設期間に車両「ライフセーバーカー」の貸出し
- ・協賛：株式会社 SUBARU

|         | 2025年             | 2024年             | 2023年             | 2022年            | 2021年  | 2020年 |
|---------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|--------|-------|
| 都道府県協会数 | 29 都道府県<br>JLA 本部 | 30 都道府県<br>JLA 本部 | 29 都道府県<br>JLA 本部 | 26 道府県<br>JLA 本部 | 21 道府県 | 3 県   |
| 車両台数    | 39 台              | 36 台              | 32 台              | 29 台             | 21 台   | 12 台  |

## < 2 > 資格認定事業

以下の資格認定講習会、更新講習会及びライフセービングサポーター講習会は「JLA アカデミー」と称する教育機関が実施した。JLA アカデミーは、本協会が有する水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能、知識等を身に付けるための機会を広く社会に提供することを目的としている。また、その目的を達成するため体系的な資格認定プログラムを有している。

### 1. 資格認定講習会及び更新講習会等の開催

本協会では、誰もが身につけるべき「自分自身を守る、溺れないためのプログラム」「目の前で人が倒れた場合の対処を学ぶプログラム」から、「実際に事故を未然に防ぎ、溺者を助ける救助技術」まで、水辺の事故をゼロにするための資格講習会を開催しており、それぞれのコースについての資格認定をしている。

＊当該資格認定事業では、ライフセーバーを養成することを目的としていない。広く人命救助と水辺の事故の減少に資するための資格認定講習会である。

＊ライフセーバーの認定についてはウォーターセーフティ及びBLS（CPR+AED）の両コースを取得し、さらに上位の知識、技能を得るための講習の受講が必要であり、不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業とは言えず、またライフセーバーの人員確保という相互扶助の

面から、その他の事業（相互扶助等事業）として実施する。

以下の資格認定講習会を開催し資格の認定を行う。また、資格取得者に対して更新講習を実施する。  
以下の2種類の講習を実施する。

(1) B L S \* ( C P R \*\* + A E D ) コース

\*BLS・・・Basic Life Support（一次救命処置）心肺蘇生とAED、気道異物の除去の3つを合わせてBLSという。

\*\*CPR・・・cardiopulmonary resuscitation（心肺蘇生法）質の高い心肺蘇生とAED等の修得を目指し人命救助及び傷病者の社会復帰を目的に実施。

(2) ウォーターセーフティ (WS\*) コース

\*WS・・・水辺において自身を守ることのできる知識や技能のこと。水辺における活動やアクアスポーツ等の中で自らの安全を確保し、ライフセービングの基礎となる事故防止に備えることを目的に実施。

(3) 資格更新講習

[認定基準]

- ① 公益財団法人日本ライフセービング協会認定の資格を有すること。
- ② 水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、公益財団法人日本ライフセービング協会が同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること。

| 資格名              | 開催数 | 発行数    |
|------------------|-----|--------|
| B L S コース        | 209 | 2, 428 |
| Water safety コース | 150 | 1, 462 |

2. ライフセービングサポーター講習会の開催

子どもの保護者や民間スポーツクラブのインストラクター、学校教員等に向けた安全教室として、企業研修や学校の授業として広く一般の要望に合わせた各種安全教育プログラム「ライフセービングサポーター講習会」を実施した。プールでのウォーターセーフティやAED、応急処置などの体験ができる。

※日本財団助成事業

| サポーター講習会     | 開催数 | 修了証発行数  |
|--------------|-----|---------|
| B L S        | 142 | 6, 747  |
| Water Safety | 146 | 13, 553 |
| ライフセービング     | 11  | 406     |

※株式会社 SUBARU 協賛事業

| 都道府県協会         | 日程    | 会場                         |
|----------------|-------|----------------------------|
| 日本ライフセービング協会   | 4/6   | 東京スバル株式会社 本郷店              |
|                | 7/8   | 株式会社SUBARU 本社ビル            |
|                | 8/3   | スバル中四国株式会社 高松木太店           |
| 北海道ライフセービング協会  | 12/13 | 北海道スバル株式会社 清田店             |
| 岩手県ライフセービング協会  | 8/23  | スバル東北株式会社 盛岡上堂店            |
| 山形県ライフセービング協会  | 3/13  | 山形スバル株式会社 山形 SUBARU        |
| 宮城県ライフセービング協会  | 6/8   | スバル東北株式会社 サンモーレー番町商店街アーケード |
| 東京都ライフセービング協会  | 1/25  | 東京スバル株式会社 練馬店              |
| 神奈川県ライフセービング協会 | 6/2   | 神奈川スバル株式会社 東名川崎店           |
|                | 10/27 | 神奈川スバル株式会社 カースポット泉店        |
|                | 11/8  | サーフビレッジ                    |
|                | 11/16 | 神奈川スバル株式会社 海老名店            |
|                | 1/23  | 神奈川スバル株式会社 青葉台店            |
|                | 2/7   | 神奈川スバル株式会社 青葉台店            |
|                | 2/27  | 神奈川スバル株式会社 秦野店             |
| 千葉県ライフセービング協会  | 1/17  | 千葉スバル株式会社 松戸店              |
| 静岡県ライフセービング協会  | 4/18  | 株式会社静岡スバル 本社               |
| 愛知県ライフセービング協会  | 10/27 | 名古屋スバル自動車株式会社 本社           |
|                | 11/9  | 三重スバル自動車株式会社 松坂店           |
|                | 11/15 | 岐阜スバル自動車株式会社 県庁前店          |
|                | 11/16 | 名古屋スバル自動車株式会社 鳴海浦里店        |
| 京都府ライフセービング協会  | 11/8  | 京都スバル株式会社 久世橋店             |
| 島根県ライフセービング協会  | 8/6   | スバル中四国株式会社 松江店             |
| 岡山県ライフセービング協会  | 8/3   | スバル中四国株式会社 岡山久米店           |
| 広島県ライフセービング協会  | 4/10  | スバル中四国株式会社 広島スバル本社         |
|                | 8/9   | スバル中四国株式会社 高岡店             |
|                | 8/10  | スバル中四国株式会社 中広店             |
| 福岡県ライフセービング協会  | 1/15  | 福岡スバル株式会社 博多駅東店            |
|                | 1/15  | 福岡スバル株式会社 福重店              |
|                | 1/21  | 福岡スバル株式会社 部品センター           |
|                | 1/21  | 福岡スバル株式会社 産業機械事業部          |
|                | 1/26  | 福岡スバル株式会社 八幡店              |
|                | 1/26  | 福岡スバル株式会社 飯塚店              |
|                | 2/16  | 福岡スバル株式会社 福岡店              |
|                | 2/16  | 福岡スバル株式会社 新宮店              |
|                | 2/16  | 福岡スバル株式会社 千早店              |

|                |       |                    |
|----------------|-------|--------------------|
|                | 2/19  | 福岡スバル株式会社 行橋店      |
|                | 2/19  | 福岡スバル株式会社 小倉東インター店 |
|                | 2/19  | 福岡スバル株式会社 西港店      |
|                | 2/19  | 福岡スバル株式会社 西港店      |
|                | 2/26  | 福岡スバル株式会社 長岡店      |
|                | 2/26  | 福岡スバル株式会社 春日店      |
|                | 3/9   | 福岡スバル株式会社 櫛原店      |
|                | 3/9   | 福岡スバル株式会社 上津店      |
|                | 3/12  | 福岡スバル株式会社 筑紫野店     |
|                | 3/12  | 福岡スバル株式会社 大牟田店     |
| 大分県ライフセービング協会  | 8/28  | 大分スバル株式会社 大分店      |
|                | 8/28  | 大分スバル株式会社 大分東店     |
|                | 2/20  | 大分スバル株式会社 日田店      |
|                | 2/20  | 大分スバル株式会社 中津店      |
|                | 3/9   | 大分スバル株式会社 別府店      |
|                | 3/9   | 大分スバル株式会社 大分店      |
|                | 3/9   | 大分スバル株式会社 東大分店     |
|                | 3/14  | 熊本スバル株式会社 高江店      |
|                | 3/15  | 熊本スバル株式会社 高江店      |
| 宮崎県ライフセービング協会  | 3/15  | 南九州スバル株式会社 花ヶ島店    |
|                | 3/15  | 南九州スバル株式会社 宮崎南店    |
|                | 3/15  | 南九州スバル株式会社 延岡店     |
|                | 3/15  | 南九州スバル株式会社 都城店     |
| 鹿児島県ライフセービング協会 | 10/19 | 南九州スバル株式会社 下荒田店    |
| 沖縄県ライフセービング協会  | 7/19  | 沖縄スバル株式会社 豊崎店      |
|                | 1/18  | 沖縄スバル株式会社 浦添店      |
|                | 1/25  | 沖縄スバル株式会社 豊崎店      |

※プールにおける安全教育事業

各プール施設の設置者、管理責任者、安全管理担当者、監視員、社員、教職員等を対象

| 依頼団体          | 日程    | 会場                                | 参加数 |
|---------------|-------|-----------------------------------|-----|
| 宮崎県教育委員会      | 5月30日 | パーソルアクアパーク宮崎<br>(宮崎県宮崎市)          | 51名 |
| イトマンスイミングスクール | 5月31日 | イトマンスイミングスクール<br>多摩校 (東京都多摩市)     | 9名  |
|               | 2月22日 | イトマンスイミングスクール<br>新百合ヶ丘校 (神奈川県川崎市) | 13名 |
| 株式会社ピーウォッシュ   | 6月30日 | アクアフィールド芝公園<br>(東京都港区)            | 20名 |

|                  |        |                             |     |
|------------------|--------|-----------------------------|-----|
| 住友不動産エスフォルタ株式会社  | 11月5日  | すみだスポーツ健康センター<br>(東京都墨田区)   | 12名 |
|                  | 11月12日 | 水元総合スポーツセンター<br>(東京都葛飾区)    | 12名 |
| 東京都健康安全研究センター    | 3月3日   | 東京都健康安全研究センター本館<br>(東京都新宿区) | 40名 |
|                  | 3月5日   |                             | 30名 |
| NPO 法人スポーツクラブあらい | 3月17日  | 妙高市総合体育館<br>(新潟県妙高市)        | 10名 |

3. 資格認定講習会及びライフセービングサポーター講習会等の普及・促進に係る支援事業  
 地方開催での資格認定講習会（指導員養成、更新講習会含む）での指導員の実施に関わる旅費を支援した。また、ライフセービングサポーター講習会での実施諸経費を一部補助した。

## < 3 > 安全・防災教育・環境保全事業

### 1. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた教育支援活動

#### (1) 臨海教育等へのライフセービング指導協力

臨海教育等を通じて安全・防災教育を行った。

| 主催                 | 日程          | 会場                | 参加数    |
|--------------------|-------------|-------------------|--------|
| 北区教育委員会<br>岩井臨海学園  | 7月19日～8月11日 | 岩井海岸<br>(千葉県南房総市) | 1,391名 |
| 葛飾区教育委員会<br>岩井臨海学園 | 7月21日～7月29日 | 岩井海岸<br>(千葉県南房総市) | 2,650名 |
| 国土舘大学              | 7月14日～7月15日 | 岩井海岸<br>(千葉県南房総市) | 163名   |

#### (2) 小中学校等へのライフセービング指導協力

各小中学校からの協力要請に応じた安全・防災教育及び海洋教育推進に向けた ICT 教育プログラムの開発と実践を行った。学校によって ICT 教育プログラムを活用した室内での学習プログラムのケース、プールでの実技プログラムのケースと状況に合わせて実施した。

| 主催                         | 日程    | 会場                        | 参加数  |
|----------------------------|-------|---------------------------|------|
| 大阪教育大学附属池田小学校<br>室内学習プログラム | 6月13日 | 大阪教育大学附属池田小学校<br>(大阪府池田市) | 100名 |

|                                        |           |                                      |       |
|----------------------------------------|-----------|--------------------------------------|-------|
| 大村市立西大村小学校<br>プール実技プログラム               | 6 月 19 日  | 大村市立西大村小学校プール<br>(長崎県大村市)            | 226 名 |
| 大阪府立汎愛高等学校<br>室内学習プログラム                | 6 月 20 日  | 大阪府立汎愛高等学校<br>(大阪府大阪市)               | 120 名 |
| 深谷市立川本北小学校<br>プール実技プログラム               | 6 月 25 日  | 川本北小学校プール<br>(埼玉県深谷市)                | 60 名  |
| 横浜市立中田中学校<br>プール実技プログラム                | 7 月 1 日   | 横浜市立中田中学校プール<br>(神奈川県横浜市)            | 374 名 |
| 高知市布師田小学校、三里小学校<br>プール実技プログラム          | 7 月 7 日   | 高知市布師田小学校、三里小学校<br>(高知県高知市)          | 573 名 |
| 高知市春野東小学校、浦戸小学校<br>プール実技プログラム          | 7 月 8 日   | 高知市春野東小学校、浦戸小学校<br>(高知県高知市)          |       |
| 高知市土佐山学舎、介良潮見小学校<br>プール実技プログラム         | 7 月 14 日  | 高知市土佐山学舎、介良潮見小学校<br>(高知県高知市)         |       |
| 高知市鴨田小学校<br>プール実技プログラム                 | 7 月 15 日  | 高知市鴨田小学校<br>(高知県高知市)                 |       |
| 高知市鏡小学校<br>プール実技プログラム                  | 7 月 16 日  | 高知市鏡小学校<br>(高知県高知市)                  |       |
| 狛江市教育委員会<br>プール実技プログラム                 | 7 月 10 日  | 狛江第 6 小学校プール<br>(東京都狛江市)             | 83 名  |
| 町田市小山田小学校<br>プール実技プログラム                | 7 月 10 日  | 町田市小山田小学校<br>(東京都町田市)                | 78 名  |
| 世田谷区世田谷小学校<br>プール実技プログラム               | 7 月 22 日  | 世田谷区世田谷小学校<br>(東京都世田谷区)              | 43 名  |
| アオバジャパンインターナショナル<br>スクール<br>プール実技プログラム | 9 月 22 日  | アオバジャパンインターナショナル<br>スクール<br>(東京都練馬区) | 61 名  |
| 小金井市立本町小学校<br>室内学習プログラム                | 10 月 26 日 | 小金井市立本町小学校<br>(東京都小金井市)              | 40 名  |

### (3) 海洋教育支援推進に向けた ICT 教育用プログラム開発 ※日本財団助成事業

#### <開発目的>

海洋教育を広く推進していくために、水辺の安全教育は必須と考える。水泳を含めた水辺教育のファンデーションプログラムとなる「安全に関する知識と技能習得」のための ICT 教育の開発を目的とした。小学校、中学校学習指導要領改訂に伴う「水泳」における「安全確保につながる運動」「水泳の事故防止に関する心得」等を反映したウォーターセーフティプログラムの構築を行った。

#### <実施内容>

- ① 「e-Lifesaving」コンテンツ改修と追加制作

- 「命を守るための溺水レポート」
- 事前学習「湖編」
- 幼児・低学年向けコンテンツ

#### (4) 学校教員への研修協力

教員を対象とした一次救命処置や水辺の事故防止等について研修会を行った。

| 主催                    | 日程    | 会場                          | 参加数 |
|-----------------------|-------|-----------------------------|-----|
| 足立区教育委員会<br>水泳事故防止研修会 | 5月30日 | 千住温水プール<br>(東京都足立区)         | 60名 |
| 東京都中央区阪本小学校           | 6月12日 | 阪本小学校<br>(東京都中央区)           | 15  |
| 寝屋川市総合教育研修センター        | 6月16日 | 寝屋川市総合教育研修センター<br>(大阪府寝屋川市) | 30名 |
| カヌースラロームセンター          | 6月18日 | カヌースラロームセンター<br>(東京都江戸川区)   | 20名 |
|                       | 6月26日 |                             | 36名 |
|                       | 7月2日  |                             | 28名 |

## 2. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた調査研究

### (1) 防災力強化事業

防災教育の推進及び公的救助機関（海上保安庁、気象庁、警察、消防）との連携について検証/調査、地震発生後の津波に対する備えや対策について調査研究した。

| 連携機関 | 連携内容                                                              | 2025年度の成果                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 気象庁  | 2020年12月24日に気象庁と日本ライフセービング協会が「水難事故防止・防災に関する協定」を締結したことにより共催事業を開始した | 7月19日～8月12日 東京都北区岩井臨海学園<br>参加者 中学1年生 1391名<br>臨海学園のプログラム中に津波フラッグを掲揚し避難訓練を実施 |

#### <津波フラッグ>

2020年の気象庁委員会にて津波フラッグが設定された。2021年、2022年とコロナの影響を受けたが各地の海水浴場では津波フラッグが配備されている。全国的に統一されていなかった津波避難時の旗が統一されたことでリスク管理が進んだ。なお、フラッグ決定には様々な意見があったが、聴覚障害者の意見や視覚障害にも配慮して、赤と白の格子模様である「U旗」が採択された。

## 3. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた教室・研修会の開催

### (1) ジュニア・ライフセービング教室の開催

全国の子どもを対象にジュニア・ライフセービング教室を開催し、「自分の命は自分で守る」等

の安全・防災教育を実施した。

※日本財団助成事業

| 実施団体        | 参加数  |
|-------------|------|
| 慶應義塾幼稚舎 LSC | 40 名 |
| 三浦 SLSC     | 24 名 |
| 天橋立 LSC     | 12 名 |
| 新宮 LSC      | 22 名 |
| 湯河原 LSC     | 11 名 |
| 札幌 LSC      | 10 名 |
| 滑川 LSC      | 12 名 |
| 沖縄県 LS 協会   | 12 名 |
| 館山 SLSC     | 50 名 |
| 高知県高知市黒潮町   | 18 名 |

(2) ジュニア・ライフセービング教室の開催に関する資器材等の配備支援 ※日本財団助成事業

- ・対象：都道府県協会及び加盟クラブ
- ・内容：ニッパーボード、ジュニア教本、ジュニアキャップ等

| 関連資器材            | 数量     |
|------------------|--------|
| ライフジャケット         | 200    |
| ジュニア用ラッシュガード     | 200    |
| ジュニア用キャップ        | 200    |
| ニッパーボード          | 10     |
| ジュニア教室用ポップアップバナー | 10     |
| ジュニアテキスト         | 4,000  |
| 水辺の安全啓発クリアファイル   | 18,000 |
| ジュニア用ウェットスーツ     | 150    |
| ビーチかるた           | 10     |

(3) 青少年に対する研修会

ライフセービングを担う人材を育成するために大学生を対象とした研修会を実施した。

| 日程            | 会場                     | 内容          | 参加数        |
|---------------|------------------------|-------------|------------|
| 2月28日<br>3月1日 | オリンピックセンター<br>(東京都渋谷区) | 学生リーダーズキャンプ | 36 大学 54 名 |

(4) ライフセーバーに対する研修会

「水辺の事故ゼロ」を目指し、より質の高い監視救助活動を行うことを目的に、溺水事故防止に関する事項、溺水事故の事例検証について情報共有する研修会やライフセーバー自身のスキルアップを目的とした研修会等を実施した。

■シミュレーション審査会 ※日本財団助成事業

| 日程    | 会場            | 参加数                         |
|-------|---------------|-----------------------------|
| 11月2日 | 海の公園（神奈川県横浜市） | ・11チーム 66名<br>・スタッフ・見学 128名 |

■スキルアップ研修会

| 日程     | 内容             | 会場            | 参加数 |
|--------|----------------|---------------|-----|
| 6月28日  | レスキューミーティング    | 千葉県山武市蓮沼      | 41名 |
| 6月29日  | サーフトレーニングクリニック | 富山県八重津浜       | 8名  |
| 7月5日   | サーフトレーニングクリニック | 千葉県山武市蓮沼      | 22名 |
| 9月21日  | サーフトレーニングクリニック | 宮崎県宮崎市青島      | 15名 |
| 10月4日  | サーフトレーニングクリニック | 鹿児島県熊毛郡屋久島町   | 10名 |
| 10月11日 | レスキューミーティング    | 神奈川県藤沢市       | 96名 |
| 10月18日 | サーフトレーニングクリニック | 京都府京丹後市       | 6名  |
| 1月31日  | サーフトレーニングクリニック | 神奈川県横浜市金沢区    | 12名 |
| 2月21日  | 第2回事例検討会       | 東京アクアティクスセンター | 75名 |

(5) インフレータブルレスキューボート（IRB\*）に関する消防向け教育カリキュラムの開発と IRB レスキュー技術に関する研修会等の開催 \*Inflatable Rescue Boat・・・救助用ボートの意

浮遊物が多い洪水や津波・高潮などの水災害において、より多くの要救助者を運搬する機材として優位である IRB に関し、全国の消防を対象にした教育カリキュラムの開発と IRB レスキュー技術に関する研修会等を開催し、ライフセーバーと全国消防が連携することで、より多くの救助が可能な体制の構築を図った。

■IRB を用いた救助技術講習会 ※日本財団助成事業

| 日程         | 参加地域消防                | 参加数 |
|------------|-----------------------|-----|
| 6月30日      | 千葉県長生郡市広域市町村圏事務組合消防本部 | 21名 |
| 9月24日      | 新潟県警機動隊               | 9名  |
| 10月24日     | 神奈川県横須賀市消防局           | 15名 |
| 10月30日・31日 | 埼玉県深谷市消防本部            | 11名 |
| 12月11日     | 千葉県夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 | 6名  |
| 2月6日       | 東京都稲城市消防本部            | 24名 |

#### (6) 誰でも海を楽しめる環境の創出

「誰もが海で遊べるための海辺のノーマライゼーションに関する手引き」(2024 年 3 月完成)をホームページで公開し、障がい者を対象とするサポートカリキュラムの実施をしている加盟ライフセービングクラブ(LSC)の継続実施を支援するとともに、実績のない加盟ライフセービングクラブが実施する際の手引きとした。また、ライフセービングクラブの希望に応じて、器材(水陸両用車いす、ニッパーボード、ライフジャケット)の貸出しを行った。

#### 4. 環境保全活動

全国の水辺の清掃及び水辺を利用する一般市民に対して環境保全についての教育を実施した。

##### ■ビーチクリーン活動

| 主な日程             | 会場                 | 主な内容      |
|------------------|--------------------|-----------|
| 7 月 1 日～8 月 31 日 | 各地の海水浴場等(約 200 か所) | ビーチクリーン活動 |

## < 4 > 競技推進事業

#### (事業実施の背景)

ライフセービング競技の目的は人命救助の向上にある。実際の現場での救助の際には瞬時に必要とされる行動をとれる技術の錬磨と基礎体力が必要であり、それには日頃の救助技術等の練習・訓練・体力づくりがその基礎となる。技術の向上、持久力や基礎体力の向上には他者との競い合いが最も近道であり、結果そこで仲間との連帯感の向上、技術の再確認等がなされる。そのことが人命救助へとつながる。競技種目はビーチ種目、スイム種目、ボード&サーフスキー種目、オーシャンマンレース等があり、その対象もジュニア(小学生)、ユース(中学生/高校生)、学生、社会人など幅広い。

#### 1. 主催競技会の開催

年間を通じてプールや海岸等で競技大会を実施した。

| 開催日           | 大会名                            | 参加数          | 会場              |
|---------------|--------------------------------|--------------|-----------------|
| 5 月 17 日～18 日 | 第3回全日本ライフセービング・IRB 競技選手権大会     | 7 チーム 60 名   | 小田の浜海岸(宮城県気仙沼市) |
| 6 月 21 日～22 日 | 第38回全日本ライフセービング種目別選手権大会        | 48 チーム 289 名 | 夕日ヶ浦海岸(京都府京丹後市) |
| 9 月 6 日～7 日   | 全日本ジュニアマスターズライフセービング選手権大会 2025 | 27 チーム 317 名 | 岩井海岸(千葉県南房総市)   |
| 9 月 20 日～21 日 | 第40回全日本学生ライフセービ                | 44 チーム 775 名 | 御宿中央海岸(千葉県夷隅郡御宿 |

|            |                                         |              |                       |
|------------|-----------------------------------------|--------------|-----------------------|
|            | ング選手権大会                                 |              | 町)                    |
| 10月4日～5日   | 第17回全日本ユースライフセービング選手権大会                 | 20 チーム 247 名 | 白浜大浜海岸（静岡県下田市）        |
| 10月11日～13日 | 第51回全日本ライフセービング選手権大会                    | 53 チーム 665 名 | 片瀬西浜海岸（神奈川県藤沢市）       |
| 10月25日～26日 | 第25回オーシャンサーフチャレンジ in 白浜 2025            | 10 チーム 106 名 | 白良浜海水浴場（和歌山県白浜町）      |
| 11月8日～9日   | The Beach Flags Series 2025             | 70 名         | 宮下公園（東京都渋谷区）          |
| 12月6日      | 第1回全日本ユースライフセービング・SERC 選手権大会            | 9 チーム 43 名   | 静岡県立水泳場（静岡県静岡市）       |
| 12月6日      | 第5回全日本学生ライフセービング・SERC 選手権大会             | 26 チーム 127 名 | 静岡県立水泳場（静岡県静岡市）       |
| 12月7日      | 第5回全日本ライフセービング・SERC 選手権大会               | 26 チーム 145 名 | 静岡県立水泳場（静岡県静岡市）       |
| 12月13日     | プール競技記録会 ～栃木県～                          | 12 チーム 41 名  | 栃木県立温水プール館（栃木県小山市）    |
| 1月17日～16日  | 全日本ジュニアユースマスターズライフセービング・プール競技選手権大会 2025 | 29 チーム 399 名 | 静岡県立水泳場（静岡県静岡市）       |
| 2月14日～15日  | 第17回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会            | 37 チーム 487 名 | 日環アリーナ栃木（栃木県宇都宮市）     |
| 2月21日～22日  | 第38回全日本ライフセービング・プール競技選手権大会              | 38 チーム 536 名 | 東京アクアティクスセンター（東京都江東区） |

## 2. 選手強化等事業 ※協賛：(株) 三洋物産/ (株) 三洋販売

ライフセービング競技における競技者の競技力強化・育成事業を実施した。

### (1) 強化合宿・研修合宿等事業

| 日程       | 対象           | 会場                       | 内容                  |
|----------|--------------|--------------------------|---------------------|
| 4月19-20日 | HPT-A, B, C  | 国際武道大学（千葉）<br>御宿海岸（千葉）   | 強化合宿                |
| 5月10-11日 | HPT-A, B, C  | 国際武道大学（千葉）<br>九十九里海岸（千葉） | 強化合宿                |
| 5月24-25日 | HPT-A, B, C  | 三浦海岸（神奈川）                | 神奈川県選手権に出場          |
| 6月7日     | TWG2025 日本代表 | AQiT（イトマン東京強化校）          | TWG2025 選手の強化       |
| 6月29日    | HPT-A, B, C  | 栃木温水プール館（栃木）             | プール遠征メンバーの<br>選考レース |
| 7月13日    | TWG2025 日本代表 | AQiT（イトマン東京強化校）          | TWG2025 選手の強化       |
| 7月20日    | TWG2025 日本代表 | AQiT（イトマン東京強化校）          | TWG2025 選手の強化       |

|           |                  |                              |                 |
|-----------|------------------|------------------------------|-----------------|
| 8月30-31日  | ISRC2025 日本代表    | 御宿海岸（千葉）                     | ISRC2025 選手の強化  |
| 9月23日     | OrangeCup 遠征メンバー | AQiT（イトマン東京強化校）              | OrangeCup 選手の強化 |
| 10月18-19日 | OrangeCup 遠征メンバー | AQiT（イトマン東京強化校）              | OrangeCup 選手の強化 |
| 10月25-26日 | ISRC2025 日本代表    | 御宿海岸（千葉）                     | ISRC2025 選手の強化  |
| 11月2-3日   | ISRC2025 日本代表    | 御宿海岸（千葉）                     | ISRC2025 選手の強化  |
| 11月15-16日 | OrangeCup 遠征メンバー | AQiT（イトマン東京強化校）              | OrangeCup 選手の強化 |
| 12月13-14日 | HPT-A, B         | 日本体育大学荏原高校（東京）               | 強化合宿            |
| 12月27-29日 | HPT-C            | GMO アスリーツパーク湯の丸（長野）          | 強化合宿            |
| 1月13日     | HPT-A, B, C      | AQiT（イトマン東京強化校）              | 強化合宿            |
| 2月1日      | HPT-A, B, C      | 海の森競技場（東京都）<br>江戸川陸上競技場（東京都） | 強化合宿            |
| 3月28-29日  | HPT-A, B, C      | 国際武道大学（千葉）<br>御宿海岸（千葉）       | 強化合宿            |

(2) 国際競技会等への代表選手選考及び派遣事業

| 大会名                                      | 大会期間      | 会場                          | 総合順位                       |
|------------------------------------------|-----------|-----------------------------|----------------------------|
| The World Games 2025                     | 8月7日-9日   | 中華人民共和国<br>成都市              | -                          |
| INTERNATIONAL SURF RESCUE CHALLENGE 2025 | 11月26-30日 | ニュージーランド<br>マウント・マウン<br>ガヌイ | オープン：4位/11か国<br>ユース：5位/7か国 |
| Orange Cup 2025                          | 11月28-30日 | オランダ<br>ロッテルダム              | -                          |

3. スポーツ教室等開催事業

小・中・高校生、学生及び一般を対象にライフセービングスポーツの楽しさと基礎的な技術の習得を通じて地域のライフセービングスポーツの普及・振興を図った。

| 日程     | 対象                | 会場                       | 内容         |
|--------|-------------------|--------------------------|------------|
| 9月8日   | 西新小学校5年生151名      | シーサイドももち海浜公園（福岡）         | 学校交流プログラム  |
| 11月30日 | 朝日スポーツクラブ 会員（小学生） | 朝日スポーツクラブ BIG-S 綱島店（神奈川） | プール競技の体験普及 |
| 12月6日  | 高校生               | 静岡県立水泳場（静岡県）             | SERC の普及向上 |

#### 4. ドーピング防止活動推進事業

国内外のドーピング防止活動の動向を踏まえ、日本アンチ・ドーピング機構に加盟・連携し、ドーピング防止教育・啓発活動を実施した。

| 日程        | 内容                                       | 参加対象                              | 参加数         |
|-----------|------------------------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 4月19日     | アンチ・ドーピング研修会                             | HPT-A. B. C、サポートスタッフ              | 53名         |
| 5月25日     | 第27回神奈川選手権大会<br>アウトリーチプログラム              | 育成選手・サポートスタッフ・保護者                 | 107名        |
| 6月3日      | 種目別選手権前<br>アウトリーチプログラム<br>(オンライン)        | 競技会参加アスリート・サポート<br>スタッフ           | 3名          |
| 9月        | 全日本学生選手権前<br>アウトリーチプログラム<br>(オンライン録画)    | 競技会参加アスリート・サポートス<br>タッフ           | 27名         |
| 10月       | 全日本選手権前<br>アウトリーチプログラム<br>(オンライン録画)      | 競技会参加アスリート・サポートス<br>タッフ           | 30名         |
| 10月11-12日 | 第51回全日本選手権大会<br>アウトリーチプログラム              | 競技会参加アスリート・サポートス<br>タッフ・保護者       | 109名        |
| 10月18日    | アンチ・ドーピング研修会<br>(オンライン)                  | OrangeCUP 日本代表・サポートスタ<br>ッフ       | 11名         |
| 10月26日    | アンチ・ドーピング研修会                             | ISRC2025 オープン日本代表・サポー<br>トスタッフ    | 15名         |
| 10月26日    | アンチ・ドーピング研修会                             | ISRC2025 ユース日本代表・サポー<br>トスタッフ     | 22名         |
| 11月6日     | アンチ・ドーピング研修会<br>(オンライン)                  | ISRC2025 ユース日本代表の保護者・<br>サポートスタッフ | 32名         |
| 1月        | 全日本学生プール選手権前<br>アンチ・ドーピング講座<br>(オンライン録画) | 競技会参加アスリート・サポートス<br>タッフ           | 27名         |
| 1月17-18日  | 第11回全日本ジュニアユース・<br>プール選手権<br>アウトリーチプログラム | 競技会参加アスリート・育成選手・サ<br>ポートスタッフ・保護者  | 236名        |
| 2月        | 全日本学生選手権前<br>アンチ・ドーピング講座<br>(オンライン録画)    | 競技会参加アスリート・サポートス<br>タッフ           | 22名         |
| 2月21-22日  | ドーピング検査<br>第38回全日本プール競技選手権<br>検査対象者      | 競技会参加アスリート                        | 実施人数非<br>公開 |

## < 5 > 国際交流事業

### < 5 > 国際交流事業

#### (事業実施の背景)

本協会は国内唯一の国際ライフセービング連盟（ILS）への加盟団体として、その責務を果たす役割があり、これまでも様々な国際事業に積極的に取り組んできた。今後も水辺の事故ゼロに向け国際貢献するべくより一層の国際交流を深め、世界情勢を把握したうえで国際的な活動を推進していく。ILS 主催の総会や理事会、各種専門委員会や事業に本協会役員や委員を参加させネットワークの構築や情報収集を実施し、ILS の戦略プランの遂行に貢献する。

#### 【2025 年度 事業】

##### 1. ILS 理事会/委員会

世界溺水防止会議（2025 年 11 月/エジプト）に合わせて対面で、理事会が開かれた。会議の合間には様々な団体や組織との打ち合わせがあり、各国から今後の JLA の国際的な場面での貢献に期待を感じられた。

##### 2. 世界溺水防止デー

国連決議で毎年 7 月 25 日が「World Drowning Prevention Day 世界溺水防止デー」と宣言された。日本国内の情報発信源となるべく専用ページを設置しキャンペーンを行った。

##### 3. 豪日交流基金

豪日交流基金から、Next Wave Japan-Australia Lifesaving Exchange & Leadership Program への助成が採択され、全 3 本のプログラムのうち「オーストラリア研修」・「ナショナルリーダーシップカレッジ」と 2 本のプログラムを実施。また、3 本目のプログラムとして、2026 年 7 月に 4 名のオーストラリア人ライフセーバーを日本へお招きし、日本におけるライフセービング、Water Safety を体験いただく予定。なお、豪日交流基金は 2026 年で設立 50 周年を迎えた。

##### 4. モナコ公妃シャルレーヌ財団助成事業

2017 年よりプロジェクトごとに助成を受け、2024-2026 年プロジェクトでは、親子向けのウォーターセーフティパンフレットの制作、全日本ジュニア選手権における大会ラッシュ、別途記載のミクロネシア派遣プロジェクトの助成をいただいた。親子向けのパンフレットは全国のライフセービングクラブを中心に海辺にて安全に楽しく過ごしてもらうための説明を行いながら配布を行った。

また今年は大阪・関西万博 2025 のモナコデーにおいて、関西地域のライフセービングに取り組む子どもたちにモナコ・パビリオン見学を財団よりご招待いただいた。翌日は、イトマンスイミング様のご協力のもと、入江陵介さん、大橋悠依さんとともにウォーターセーフティの講習が実施され、財団関係者には活動を見学いただいた。

##### 5. ミクロネシア連邦 Water Safety Project 実施

アジア太平洋ウォーターセーフティプロジェクト委員会（特別委員会）を立ち上げ、ミクロネシ

ア連邦における Water Safety Project を実施。

JLA グランドデザイン 2061 アクションプラン 2031 にある「アジアパシフィックの一員として近隣諸国との連携推進」に向けて、2025-2026 年のモナコ公妃シャルレーヌ財団の助成でミクロネシア連邦のウォーターセーフティを実施。2026 年 2 月 17 日から 23 日にかけてミクロネシア連邦ポンペイ州へ委員 2 名を派遣が実現。

現地では 3 つの小学校や 1 つの大学、1 スイミングクラブで合計約 220 名にウォーターセーフティ講習を実施。泳力のある方には実践形式での講習も実施した。海や川だけでなく、雨水を貯めて生活用水にする水タンクでの事故も起きており、西太平洋地域では 5-14 歳の死因 1 位が溺水という厳しい状況とともに、現地でのウォーターセーフティのニーズの高さより、継続的な取り組みを今後も検討していきたい。

#### 6. 国際ライフセービング連盟（ILS）役員及び専門委員会等

- (1) 中川容子；ILS 理事、ILS アジア太平洋地区理事、Drowning Prevention Commission
- (2) 田中秀治；Medical Committee
- (3) 石川仁憲；Rescue Commission
- (4) 田村憲章；Sports Commission
- (5) 栗栖清浩；Lifesaving Sport Regulations Committee
- (6) 出木谷啓太；Athletes Commission
- (7) 錦織功延；Therapeutic Use Exemptions Committee

## < 6 > 広報活動事業

### 1. SNS 利活用による情報発信

公式ホームページ等、SNS を通じて本協会の理念や事業活動を情報発信した。

| 媒体                | ページビュー                | ユーザー数                |
|-------------------|-----------------------|----------------------|
| 公式 JLA サイト        | 284,943<br>(前年比 103%) | 158,391<br>(前年比 95%) |
| 公式 LIFESAVING サイト | 594,424<br>(前年比 99%)  | 116,258<br>(前年比 91%) |

| 媒体                       | フォロワー数           |
|--------------------------|------------------|
| 公式フェイスブック                | 6,765 (前年比 105%) |
| インスタグラム @jla_lifesaving  | 6,486 (前年比 148%) |
| インスタグラム @lifesaver_japan | 4,898            |

|         |       |
|---------|-------|
| X       | 2,728 |
| YouTube | 3,929 |
| TikTok  | 589   |

## 2. 広報資料の作成

プレスリリース等の広報資料を通じて当協会の理念や事業活動を情報発信した。

| 媒体名     | 件数（前年） |
|---------|--------|
| プレスリリース | 42（26） |

## 3. メディア取材対応

| 媒体名     | 件数（前年） |
|---------|--------|
| 新聞      | 17（14） |
| テレビ・ラジオ | 48（30） |
| 雑誌・その他  | 25（12） |
| Web サイト | 15（11） |

## 4. アニュアルレポートの発行

「2024 年度事業報告」を編集して冊子発行した。

# < 7 > その他の事業

## 1. 関係諸団体との連携推進

本協会の理念や活動目的に賛同・協力する地方ブロック協会、都道府県協会や加盟クラブ、関連諸団体と積極的に連携し、外部団体や広く国民に対してライフセービングの普及・促進を図る。また、関係する官公庁や教育諸機関及びスポーツ諸団体等との積極的な連携を促進した。

| 会議名等            | 日程        | 内容          | 会場                          |
|-----------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| 都道府県協会<br>代表者会議 | 11 月 22 日 | ・本部報告及び意見交換 | ハイブリッド開催<br>・TKP 札幌（北海道札幌市） |

| 連携/加盟/関連団体 | 内容等                                                      |
|------------|----------------------------------------------------------|
| 日本サーフィン連盟  | (継続) JLA 理事長が理事に選任(2023)<br>(継続) パートナーシップ協定の締結(2018-6/7) |

|                |                                                                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | (継続)WSUPPC 世界大会への選手派遣                                                                                                        |
| 日本水泳連盟         | (継続)パートナーシップ協定の締結(2024-3/19)<br>(継続)OWS 事業協力の締結(2016-2/26)<br>(継続)日本水泳連盟主催 OWS 競技会及び国民体育大会等の安全担当員<br>及びライフセーバー派遣             |
| 日本水難救済会        | (継続)水難事故救助・防止に関する協定の締結(2023-4/24)                                                                                            |
| 日本ローイング協会      | (継続)パートナーシップ協定の締結(2023-7/19)                                                                                                 |
| 神奈川県ライフセービング協会 | (継続)包括協定の締結(2023-4/1)                                                                                                        |
| 日本スポーツ協会       | (継続)承認団体として加盟(2023)                                                                                                          |
| 日本スポーツ政策推進機構   | (継続)一般会員として団体加盟(2023)                                                                                                        |
| UMI 協議会        | (継続)活動会員として団体加盟(2023)                                                                                                        |
| 日本水路協会         | (継続)「沿岸海域の総合管理のための地形データの整備プロジェクト」委<br>員派遣(2023)                                                                              |
| 気象庁            | (継続)水難事故防止・防災に関する協定(2020-12/24)<br>(継続)津波旗講演会/講師派遣<br>(継続)津波旗啓発ポスター、リーフレット、デモ映像普及協力                                          |
| 海上保安庁          | (継続)事故防止対策等に関する協定(2017-3/15)<br>(継続)「海の安全推進本部・海の安全推進アドバイザー」委員委嘱<br>(継続)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」制作協力                      |
| 消費者庁           | (継続)「消費者安全調査委員会専門委員」委嘱                                                                                                       |
| スポーツ庁          | (終了)委託事業「令和の日本型学校体育構築支援事業」<br>(継続)「水泳等の事故防止について(通知)」<br>(継続)「スポーツ施設等安全管理講習会指導員派遣協力(通知)」<br>(継続)ICT 教育コンテンツ「e-Lifesaving」情報提供 |
| トライアスロンジャパン    | (継続)パートナーシップ協定の締結(2016-3/16)<br>(継続)日本トライアスロン連合主催競技会及び国民体育大会等への安全<br>担当員及びライフセーバー派遣                                          |
| 日本マスターズ水泳協会    | (継続)パートナーシップ協定の締結(2018-7/27)<br>(継続)日本マスターズ水泳協会主催競技会へのライフセーバー派遣                                                              |
| 日本ワールドゲームズ協会   | (継続)正会員として団体加盟<br>(継続)JLA 事務局長が監事として選任                                                                                       |
| 日本救護救急学会       | (継続)JLA メディカルダイレクター他役員が理事として選任                                                                                               |
| 救急救命士統括体制認定機構  | (継続)JLA 理事長が理事、そのほか専門委員が統括医師研修認定委員会委<br>員、救急救命士研修認定委員会委員として選任                                                                |

|              |                                                                                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 吉川慎之介記念基金    | (継続)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」普及協力                                                   |
| 河川財団         | (継続)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」制作協力                                                   |
| 御宿町（千葉県）     | (継続)相互協力協定の締結(2015-12/15)<br>(継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の実施(2019 年運用開始) |
| 高浜町（福井県）     | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の実施(2021 年運用開始)                              |
| 鎌倉市（神奈川県）    | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の実施(2022 年運用開始)                              |
| 下田市（静岡県）     | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の導入(2023 年運用開始)                              |
| 恩納村（沖縄県）     | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の導入(2025 年運用開始)                              |
| 宮古島市（沖縄県）    | (新規)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流等事故防止活動の導入(2025 年新規開発)                              |
| 神奈川県         | (継続)海岸における水難事故防止等に向けた取り組みの推進と安全安心な海岸づくりの実現を図る連携と協力に関する包括協定締結(2020-6/19)                |
| 牧之原市（静岡県）    | (継続)「ライフセービングスポーツの発展と人材の育成・強化に関する包括協定」締結(2022-5/9)                                     |
| 国際武道大学（千葉県）  | (継続)「ライフセービングスポーツの発展と人材の育成・強化に関する包括協定」締結(2021-4/1)                                     |
| 学校法人国士舘（東京都） | (継続)「ドローンを活用した防災・救急救助の発展とそれに係る人材の育成・交流に関する包括協定」締結(2022-7/1)                            |

## 2. 「ダメ、ゼッタイ。」普及運動

全世界的に広がりを見せている薬物乱用問題に取り組むために、厚生労働省医薬局が主催として取り組む「ダメ、ゼッタイ。」普及運動に JLA が後援団体として参加し、ポスターやリーフレットに後援団体として JLA の名義が掲載され、都道府県ライフセービング協会、加盟ライフセービングクラブを通じて学生ライフセーバーへ薬物乱用防止を啓発した。

### 3. 認定海水浴場認証事業 ※日本財団助成事業

国際ライフセービング連盟のリスク評価指標及び本協会独自の指標に基づき海水浴場の安全性を総合的に評価し認証する「認定海水浴場認証事業」を行った。合計で 41 か所となっている。

|                      | 実施場所                                                                                                                                                                                               |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新規認証 5 か所            | 1. 大久保浜海水浴場（東京都三宅村）<br>2. 前浜第 4 海水浴場（東京都新島村）<br>3. 中の浦海水浴場（東京都新島村）<br>4. 土肥海水浴場（静岡県伊豆市）<br>5. 小土肥海水浴場（静岡県伊豆市）                                                                                      |
| 更新認証 8 か所<br>※更新 3 年 | 1. 小田の浜海水浴場（宮城県気仙沼市）<br>2. 御宿中央海水浴場（千葉県御宿町）<br>3. 黒根海水浴場（東京都新島村）<br>4. 泊港海水浴場（東京都新島村）<br>5. 湘南ベルマーレひらつかビーチパーク海水浴場（神奈川県平塚市）<br>6. 吉浜海水浴場（神奈川県湯河原町）<br>7. 静波海水浴場（静岡県牧之原市）<br>8. 相良サンビーチ海水浴場（静岡県牧之原市） |
| リスク評価 1 か所           | 1. いなげの浜海水浴場（千葉県千葉市稲毛区）                                                                                                                                                                            |

\* \* \* \* \*

## 【B. その他の事業】

### （事業実施の背景）

人命救助、水辺の事故の減少・防止のためにはライフセービングの普及と同じく実際に人命救助を行うライフセーバーの存在が不可欠であるが、日本国内ではその数がまだまだ不足している。このような現状では、水辺の事故を防止することも、人命を救助することも困難となる。そこで、当事業では主に海岸、プール等で活動する認定ライフセーバーを養成する講習を開催し、正しい知識と技術をもったライフセーバーとしてその資格を認定する。認定された者は「認定ライフセーバー」等の名称を使用し、活動することができる。

### （事業の目的）

全国の水辺の事故防止、事故の減少、人命救助、水辺の安全利用の促進を図るため、認定ライフセーバー等の養成を行う。

### （事業の内容）

以下のコース別の資格認定講習会、研修会は「J L A アカデミー」と称する教育機関が実施する。J L A アカデミーは、本協会が有する水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能、知識等を身に付けるための機会を広く社会に提供することを目的としている。また、その目的を達成するため体系的な資格認定プログラムを有している。

## < 1 > 認定ライフセーバー養成のための資格認定事業

### 1. 認定ライフセーバー資格認定

資格認定は大きく以下のコースに分類されている。

- (1) サーフライフセービングコース
  - (2) プールライフガーディングコース
  - (3) IRB コース \*Inflatable Rescue Boat・・・救助用ボートの意
  - (4) ジュニアエデュケーションコース
  - (5) PWRC コース \*Personal Water Rescue Craft・・・救助用水上バイクの意
- さらに最上位資格として下記の資格がある。
- (6) アシスタントインストラクター・インストラクター(指導員)

すべての事業に共通して、

- ① ウォーターセーフティ及びBLS (CPR+AED) コースの受講が完了し、両者の資格を保有していなければその上位資格である上記各コースの資格を取得することはできない。以下、ウォーターセーフティ及びBLSの資格を「基礎資格」とする。
- ② 15歳以上でなければ資格を取得できない。

#### (1) サーフライフセービングコース

基礎資格を有した上で、取得できる資格は、ベーシックサーフライフセーバー及びアドバンスサーフライフセーバー資格である。

#### (2) プールライフガーディングコース

基礎資格を有した上で、取得できる資格は、プールライフガード及びアドバンスプールライフガード資格である。

#### (3) IRB コース

基礎資格及びベーシックサーフライフセーバーの資格を有した上で、取得できる資格は、IRBクルー及びIRBドライバー資格である。

#### (4) ジュニアエデュケーションコース

基礎資格及びベーシックサーフライフセーバー又はプールライフガードの資格を有した上で、取得できる資格は、リーダー資格である。

#### (5) PWRC コース

基礎資格及びベーシックサーフライフセーバーもしくはアドバンスサーフライフセーバー資格を有した上で、取得できる資格はPWRCクルー資格及びPWRCオペレーター資格である。

#### (6) アシスタントインストラクター及びインストラクター資格（指導員資格について）

最上位資格として以下の各指導員資格を取得できる。

- ・BLS アシスタントインストラクター
- ・BLS インストラクター
- ・ウォーターセーフティアシスタントインストラクター

- ・ウォーターセーフティインストラクター
- ・サーフライフセービングアシスタントインストラクター
- ・サーフライフセービングインストラクター
- ・プールライフガーディングアシスタントインストラクター
- ・プールライフガーディングインストラクター
- ・I R B アシスタントインストラクター
- ・I R B インストラクター
- ・ジュニアライフセービングアシスタントインストラクター
- ・ジュニアライフセービングインストラクター
- ・PWRC アシスタントインストラクター
- ・PWRC インストラクター

これらの資格は共通して各コースの下位資格を取得した上で実務経験等の条件を満たした者が取得できるものである。

#### ■認定ライフセーバー資格認定

| 資格名             | 開催数 | 発行数   |
|-----------------|-----|-------|
| ベーシックサーフライフセーバー | 81  | 796   |
| アドバンスサーフライフセーバー | 22  | 162   |
| IRB クルー         | 8   | 52    |
| IRB ドライバー       | 6   | 26    |
| プールライフガード       | 25  | 153   |
| アドバンスプールライフガード  | 2   | 8     |
| リーダー            | 8   | 67    |
| PWRC クルー        | 6   | 23    |
| PWRC オペレーター     | 0   | 0     |
| 資格更新            | 118 | 788   |
| 資格復活            | 22  | 27    |
| 指導員養成（新規）       | 15  | 87    |
| 指導員更新（継続）       | 16  | 430   |
| 合計              | 329 | 2,619 |

■BLS 指導員養成講習会（以下含め計 526 名）

| 日程                   | 会場                       | 合格者 |
|----------------------|--------------------------|-----|
| 11 月 8、9、15、16 日     | 流通経済大学 龍ヶ崎キャンパス（茨城県龍ヶ崎市） | 13  |
| 11 月 15、16、29、30 日   | デ・アウネさっぽろ他（北海道札幌市）       | 2   |
| 12 月 6、7、13、14 日     | 東京医薬看護専門学校（東京都江戸川区）      | 6   |
| 12 月 13、14、20、21 日   | 下関生涯学習プラザ（山口県下関市）        | 4   |
| 1 月 24、25、31、2 月 1 日 | 大阪ハイテクノロジー専門学校（大阪府大阪市）   | 7   |
| 1 月 30、31、2 月 1、2 日  | 宜野湾マリン支援センター（沖縄県宜野湾市）    | 9   |
| 3 月 14、15、21、22 日    | 静岡市清水市民活動センター            | 7   |
| 合計                   |                          | 48  |

■ウォーターセーフティ指導員養成講習会（以下含め計 395 名）

| 日程             | 会場                          | 合格者 |
|----------------|-----------------------------|-----|
| 12 月 6、7 日     | 流通経済大学（茨城県龍ヶ崎市）             | 7   |
| 2 月 26、27 日    | タピックタラソセンター宜野座（沖縄県国頭郡）      | 5   |
| 2 月 22、23 日    | スポーツクラブビッグラン（広島県福山市）        | 3   |
| 2 月 28、3 月 1 日 | インフロニア草津アクアティクスセンター（滋賀県草津市） | 6   |
| 1 月 17、18 日    | アクアブルー多摩（東京都多摩市）            | 6   |
| 合計             |                             | 27  |

■サーフライフセービング指導員養成講習会（以下含め計 269 名）

| 日程              | 会場                      | 合格者 |
|-----------------|-------------------------|-----|
| 4 月 20、26、27 日  | 相良ライフセービングハウス他（静岡県牧之原市） | 2   |
| 11 月 23、29、30 日 | 三浦市大浦海岸（神奈川県三浦市）        | 8   |
| 合計              |                         | 10  |

■プールライフガーディング指導員養成講習会（以下含め計 103 名）

| 日程  | 会場 | 合格者 |
|-----|----|-----|
| 未実施 |    |     |
| 合計  |    |     |

■IRB 指導員養成講習会（以下含め計 54 名）

| 日程  | 会場 | 合格者 |
|-----|----|-----|
| 未実施 |    |     |
| 合計  |    |     |

■ジュニア・ライフセービング指導員養成講習会（以下含め計 57 名）

| 日程          | 会場                     | 合格者 |
|-------------|------------------------|-----|
| 3 月 21、22 日 | 慶應義塾大学日吉キャンパス（神奈川県横浜市） | 2   |
| 合計          |                        | 2   |

■PWRC 指導員養成講習会（以下含め計 12 名）

| 日程  | 会場 | 合格者 |
|-----|----|-----|
| 未実施 |    |     |
| 合計  |    |     |

※教育機関・企業等での資格認定講習会

| 団体名         | 日程                                                              | 種別                                | 参加数            |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 森ノ宮医療学園専門学校 | 4 月 11, 18, 25 日<br>5 月 9 日                                     | BLS                               | 30             |
| 流通経済大学      | 5 月 22, 23, 31 日                                                | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 11<br>14       |
| 東京工学院専門学校   | 4 月 22 日, 10 月 28 日                                             | BLS                               | 33             |
| 東京都立多摩高等学校  | 4 月 17 日<br>5 月 1, 8, 15, 29 日<br>6 月 12, 19 日                  | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 3              |
| 株式会社ピーウォッシュ | 4 月 30 日<br>5 月 31 日                                            | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 7              |
| 昭和第一学園高等学校  | 5 月 27, 29 日<br>6 月 3, 5 日<br>7 月 5, 24, 25 日                   | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 41<br>9        |
| 成城学園高等学校    | 6 月 19, 21 日                                                    | BLS                               | 17             |
| 九州医療科学大学    | 6 月 7, 27, 28, 29, 30 日                                         | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>ベーシックサーフ     | 17<br>16<br>15 |
| 国際武道大学      | 6 月 5, 11, 18, 19 日<br>7 月 20 日, 8 月 12 日,<br>1 月 27 日, 3 月 9 日 | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 131<br>22      |
| 九段中等教育学校    | 6 月 9, 10, 18, 20 日                                             | BLS                               | 142            |
| 大島海洋国際高校    | 6 月 15 日                                                        | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 16             |

|                                             |                                      |                                   |                |
|---------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 名古屋医健スポーツ専門学校                               | 7月17日                                | BLS                               | 20             |
| 大阪府立摂津高等学校                                  | 8月27日                                | ウォーターセーフティ                        | 36             |
| 株式会社オーエンス                                   | 6月25, 30日                            | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 6              |
| 東京スポーツレクリエーション専門学校                          | 4月2, 25日<br>6月17, 20日                | BLS                               | 129            |
| 東京メディカルスポーツ専門学校                             | 6月19, 24日<br>7月31日, 8月26日<br>3月3, 6日 | BLS                               | 135            |
| 十文字中学高等学校                                   | 8月30, 31日                            | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 8<br>18        |
| 愛知淑徳大学                                      | 9月4, 5, 8, 9, 10日                    | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 34名            |
| 日本水泳トレーナー会議                                 | 11月9日                                | BLS                               | 9              |
| 国立スポーツ科学センター                                | 1月11日                                | BLS                               | 7              |
| 森永製菓株式会社                                    | 11月26日                               | BLS                               | 2              |
| イトマンスイミングスクール<br>(西神戸・西宮・玉出・真美ヶ丘・札幌麻生・上石神井) | 11月23, 29, 30日<br>1月30, 31日, 2月11日   | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 34<br>34<br>34 |
| オーエンス健康プラザ                                  | 12月10日                               | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 1<br>2         |
| 早稲田大学                                       | 12月10日, 1月28日                        | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 3              |
| 横浜インターナショナルスクール                             | 2月6日                                 | BLS<br>ウォーターセーフティ<br>プールライフガーディング | 5              |
| 環太平洋大学                                      | 2月2, 10日                             | BLS                               | 98             |
| セサミスポーツクラブ三鷹                                | 3月23日                                | BLS<br>ウォーターセーフティ                 | 4              |

## 2. 認定審判員資格認定及び審判員研修会の開催

ライフセービング競技会等で審判を行うための講習会を開催し、C級審判員の資格を認定する。さらに審判員に対する研修会を実施する。

審判員の認定については、認定審判員規程に従いこれを認定する。その他、上級審判としてS、A、B級審判員を定めている。

### ■ C級認定審判員養成講習会

| 日程     | 会場          | 合格者 |
|--------|-------------|-----|
| 5月10日  | オンライン       | 8   |
| 5月11日  | オンライン       | 24  |
| 5月10日  | そびあしんぐう     | 8   |
| 6月15日  | オンライン       | 2   |
| 7月26日  | オンライン       | 30  |
| 7月27日  | オンライン       | 37  |
| 8月16日  | オンライン       | 1   |
| 8月24日  | オンライン       | 25  |
| 8月23日  | オンライン       | 26  |
| 9月16日  | 日本体育大学      | 1   |
| 11月15日 | オンライン       | 4   |
| 11月16日 | オンライン       | 12  |
| 12月14日 | オンライン       | 34  |
| 12月14日 | 東海大学静岡キャンパス | 14  |
| 1月10日  | オンライン       | 17  |
| 1月11日  | オンライン       | 9   |
|        | 合計          | 252 |

### ■ 審判員研修会

| 日程    | 会場    | 参加数 |
|-------|-------|-----|
| 8月19日 | オンライン | 29  |
| 8月26日 | オンライン | 36  |
| 8月30日 | オンライン | 23  |
| 9月2日  | オンライン | 28  |
| 1月6日  | オンライン | 41  |
| 1月9日  | オンライン | 27  |
|       | 合計    | 184 |

\* \* \* \* \*

指導員資格：「更新」認定基準

[認定基準]

- ① 公益財団法人日本ライフセービング協会認定の指導員資格を有すること。
- ② 水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、公益財団法人日本ライフセービング協会が同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること。

その他の資格及び審判員資格：「更新」認定基準

[認定基準]

- ① 公益財団法人日本ライフセービング協会認定の資格を有すること。
- ② 水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、公益財団法人日本ライフセービング協会が同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること。

\* \* \* \* \*

## 【C. 収益事業】

### < 1 > STCW 条約に基づく基本訓練講習事業

(事業実施の背景)

STCW 条約第 6 章第 1 規則を担保するための船員労働安全衛生規則第 11 条第 1 項に基づく教育及び訓練の実施について、令和 2 年 4 月に対象が拡大され内航船についても対象となった。同訓練を実施する機関は現行 6 機関のみであり、受講対象範囲が拡大されたことから、受講希望者が増加し、訓練の滞りが懸念される。

本協会は、水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能、知識を有しており、同訓練の実地訓練機関として十分に機能を果たし基本訓練（講習会）を実施することが可能であり、本協会が同事業に参画することで実地訓練機関の拡充を図ることが出来る。また、本協会としても、水辺の事故防止を理念に掲げる中、水辺の領域を海洋にまで広げ事業を行えることができる。

※船員法の改正に伴い令和 8 年 2 月 14 日から基本訓練に関する法律上の位置づけが明確化された。

(事業の目的)

STCW 条約（第 6 章第 1 規則等）において規定された基本訓練について、本協会が有する水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能・知識を活かし、実地訓練機関として基本訓練（講習会）を実施し、対象となる船員に対し係る知識と技能を教授し、もって回避可能な人命被害の減少を図る。

(事業の内容)

STCW 条約に基づく基本訓練に係る講習会の開催

STCW 条約（第 6 章第 1 規則等）において規定された基本訓練の対象となる船員に対し、個々の生存技術に係る訓練における講習会を開催し、修了者に受講証明書を交付する。講習会の管理は本協会内【JLA アカデミー本部】が実施することとし、係る船員労働安全衛生規則上の事務については、国土交通省海事局船員政策課へ必要な届出・報告等を行う。

(基本訓練に関する内容)

講師は、本協会の役職員等で、講師の知識及び能力の確保・維持のための研修を受講した者が担うこととし、内容は国土交通省の定める基準に基づいて行うこととする。

■ 基本訓練講習会

| 日程        | 会場            | 参加数 |
|-----------|---------------|-----|
| 7 月 6 日   | 甲賀 B&G 海洋センター | 9   |
| 8 月 3 日   | 甲賀 B&G 海洋センター | 7   |
| 11 月 30 日 | 甲賀 B&G 海洋センター | 13  |
| 12 月 7 日  | 甲賀 B&G 海洋センター | 9   |
| 1 月 25 日  | 甲賀 B&G 海洋センター | 10  |
| 3 月 8 日   | 甲賀 B&G 海洋センター | 9   |
|           | 合計            | 57  |

(以上)